

名古屋地区で初の管理基礎研修

日鉄住金総研

新日鉄住金グループで人材育成や調査・研究事業などを手掛ける日鉄住金総研（本社・東京都千代田区、社長・川合良彦氏）は26日、名古屋地区で初の管理基礎研修を行い、地区鋼材流通加工業などから若手管理職社員4人が参加した。写真。

企業の人材育成における社員研修ニーズが

多様化する中、会社では企業の共通課題をテーマとした公開研修のほか、個社に照準を絞ったきめ細かいオーダー



メイド研修でも実績がある。

今回、新任管理者、管理職補佐、管理の基礎を学びたい人を対象に、名古屋市内のホテルで26～27日の2日間、宿泊を含めて実施。

同社の黒川伸洋ビジネスソリューション部教育事業センター長が講師となり、マネジメントの基本や事例研究、討議、自分の役割をとらえる視点などの項目に従って管理の基礎を学んだ。